

## (第2回) 地域コミュニティのあり方検討委員会 会議録

- 日 時 平成30年6月11日(月) 午後7時00分から午後9時00分まで
- 場 所 西条市役所 庁舎新館4階 404会議室
- 出席者 委員(14名)
  - 青野 信樹 委員 阿蘇 浩造 委員 井上 康 委員
  - 宇佐 裕次 委員 岡本 将広 委員 川上 善秋 委員
  - 黒河 幸子 委員 田口 勝三 委員 田口 勝敏 委員
  - 處 淳子 委員 野島 貴子 委員 野田ゆり子 委員
  - 坂東 君良 委員 渡部 克彦 委員
- アドバイザー(1名)
  - 櫻井 常矢(高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 教授)
- 事務局(5名)
  - 田村三智子(企画情報部 市民協働推進課長)
  - 井上 直樹(企画情報部 市民協働推進課 協働推進係長)
  - 戸田 和宏(企画情報部 市民協働推進課 地域組織係長)
  - 戸田 聖子(西条市市民活動支援センター)
  - 竹内 敏博(西条市市民活動支援センター)
- 欠席者 白石 澄子 委員
- 会次第
  - 1 開 会
  - 2 委員長挨拶
  - 3 議題
    - (1) 地域コミュニティの現状と課題
    - (2) 次回の委員会に向けて
    - (3) その他
  - 4 閉 会

## ○ 議題審議

### 議題（１）地域コミュニティの現状と課題

（※３つのグループに分かれて協議を行った。協議の際に付箋に書き出した意見を分類の上、以下に掲載。）

『テーマ① 地域で活動する団体の組織的な困りごと、不足していること、今後必要になりそうなこと』

#### 【若者に関すること】

- ・地域の中で若者が活躍する場が少ない
- ・若い人材の不足
- ・若い人にどんどん役をお願いする。交流は大切
- ・若者と子ども的人数が少ない、高齢者が多い
- ・若い人のなり手がいない
- ・若手の参加
- ・若者の参加が少ない
- ・若い方の意見が反映されにくい
- ・高齢者の方が多いため若い方の参加が少ない

#### 【団体運営や活動に関すること】

- ・自治会未加入
- ・年齢が達していても老人会に入ろうとしない
- ・校区婦人会については、やはり婦人会は校区に必要だと思うのでもっと運営がスムーズに出来るようにもっと協力する人が増えてほしい
- ・地域の改善へ向けての意欲が分散している
- ・中期的な組織づくり→継続性
- ・課題解決にむけ集中的・継続的に取り組めない
- ・PTA活動に協力的でない保護者の増加
- ・自治会への加入世帯の低下
- ・イベント消化型で行事がマンネリ化
- ・連合自治会のイベントが多い
- ・自治会（単位）総世帯の参加が必要か？
- ・自治会に楽しそう、面白そうのイメージがない
- ・親世代→子世代への引継ぎがうまくいかない
- ・組織のあり方の価値観の違いの統一が難しくなる

- ・防災の取得が自治会長の推薦が必要？
- ・公民館に色々な部会があるので連合自治会として部会を作れない？
- ・単位自治会と連合自治会がそれぞれの組織として何をしたいのかがわからない
- ・参加者不足
- ・一体感を感じることに

### 【団体役員に関すること】

- ・自治会において、自治会長のなり手が中々いない、又、その自治会内での役割分担についても難しい
- ・会長を含め役員になり手がほとんどいない→順番で決めている
- ・役員の高齢化
- ・会長の選任に苦勞する
- ・リーダーの育成ができないのでは、人材不足
- ・役のなり手がいない
- ・各種団体の長がコミュニケーションを取れる場がほしい。横のつながりが少ない
- ・リーダーシップがとれる人材が不足
- ・人材の育成
- ・輪番制が悪いのでは？
- ・引き受ける人と引き受けない人で分かれる（同じ人がどんどん忙しくなる）
- ・70代、80代のとりしきり
- ・次の時代を担う人材が不足している

### 【会議や話し合いに関すること】

- ・地域課題の集約が難しい
- ・報告のみで会議が活性化していない
- ・話し合いの機会と内容が極端に不足している
- ・学校と地域の人々の考え方の違い
- ・色々な人、組織からの課題を出し合う場が必要になる
- ・話し合いの機会があるようでない（共働き世代の）
- ・子ども同士のコミュニケーション不足
- ・単位自治会長が集まる定期的な会を開催していない

### 【その他の意見】

- ・公民館が中心となった地域づくりが出来るかが不安
- ・学習活動に対する地域の支援
- ・近隣、個人の情報不足
- ・企業と地域住民の意見交換の場
- ・企業の力を活用する
- ・独居老人
- ・買い物難民が出て来る

『テーマ② テーマ①から見えてきた課題に対し、どうあるべきか、どのような組織であるべきか』

### 【若者や子どもに関すること】

- ・自治会の役員に若い人を指名する（若い人を入れた自治会）
- ・若者の参加
- ・若者が参加しやすい環境づくり
- ・若者の一本釣り
- ・どの団体についても長老はむやみに力を出し過ぎず、若い役員になってくれた人たちを支える事
- ・徐々に若い世代にまかせる
- ・未来（次）世代に舵取りと責任を
- ・若者が参加したい環境組織づくり
- ・若者が自ら考えるようなサポートづくり
- ・ベテラン世代はサポートにまわる体制
- ・若者を取り込む魅力ある組織づくり
- ・若者の意見を聞く機会をつくり
- ・若い人を活躍の場に立てるよう育成してゆく。若者を大切に…
- ・若者の活躍→事務局⇄若者 活躍できる場づくり
- ・若者を中心に据えた組織づくり
- ・自治会、次の世代が入ってきやすいように（小さな役割から担ってもらう）
- ・子どもが子どもを育てる
- ・子ども達が主役のまちづくり・地域づくり（存在の価値を↑）
- ・子どもの自治組織
- ・子供達が大人になってから住みたいと思える街にしたい
- ・子どもをきちんと育てる（地域人として）

### 【団体運営や活動に関すること】

- ・ 連合自治会の標準化
- ・ 全戸自治会加入
- ・ 自治会に入りたくなる環境づくり
- ・ 地域の状況に応じた組織のアレンジ
- ・ 行事の選択
- ・ 喜び楽しめる行事
- ・ 人を集める人がいる組織がある
- ・ 仕組みがしっかりと創られている組織が良い
- ・ 仕組みを創ってしっかりと見直し改善していける組織が必要
- ・ イベントを1つにする。例えば、婦人バレーボールとレクレーションバレー
- ・ 2つの組織を1つにする
- ・ 支え合える組織が良い（育て合える）
- ・ 自治会にただ入れというのではなく、自治会が地域に果たす役割などの周知すべき
- ・ 自治会の加入について説明を十分にしながら気長く説得するとして入ってもらう
- ・ 自治会組織として個人に負担をかけるようなことは避けていく
- ・ 組織の簡素化
- ・ 失敗を責めない組織づくり
- ・ 一人一人のニーズに応えるための組織づくり
- ・ 不必要な事は削って、必要な事をちゃんとやれる組織を作る→動き出すことで新しい人を巻き込み良い循環が生まれる

### 【団体役員、人材に関すること】

- ・ 役職に適正な人材がいる組織が良い
- ・ 自治会においては会長になってくれた時にはその会長の補佐を十分に協力できる様に組織作りをする
- ・ 人材育成は循環型で
- ・ 楽しく組織を運営できるようにしていく
- ・ 支え合い、育て合う組織を創る
- ・ 人づくりが大切

### 【会議や話し合いに関すること】

- ・ ざっくばらんな話し合いができる集会を
- ・ 話し合いの意見を出し合える場をつくれる人がいる

- ・自治会 誰の意見も尊重する（風通しの良い）
- ・夢を語れる場づくり
- ・困ったこと、助けてほしいことを言える自治会
- ・住民の課題を解決するための窓口（行政）
- ・地域の全世帯をとりこんでの事業を考える（自治会未加入者も含め）
- ・公民館を巻き込んでの事業を計画する

### 【交流や連携に関すること】

- ・地元の企業と連携できる組織があると良い
- ・仕事と自治会をマッチング出来れば
- ・つなぎ役がいる
- ・各世代間の交流
- ・若者、子ども、お年寄り全員でのコミュニケーションの場
- ・課題と解決のための地域のコーディネーター→「できる事の交流」
- ・学校と地域の接点を考える
- ・子どもと自治会 改善

### 【目指す地域の姿や理念・ビジョンに関すること】

- ・こうありたいという地域の理念をつくる
- ・目指すビジョンを分かり易くつくり、共有する
- ・あるべき姿の明確化
- ・自助、共助、公助の意識
- ・地域の良さを知ってもらう
- ・人財の対象は子ども（人づくり）
- ・地域の人に育ててもらわないと地域人になれない
- ・元気で安心して暮らせる地域づくり
- ・他の地域から移住してくる様な町づくり

### 【その他の意見】

- ・会社が少なく個人業が多い。改善する策はあるのか？
- ・やっぱり若い公民館主事が必要になるのでは？（事務局）
- ・やはり地域を良くしていく為にも基本は家族、そして近所のつながり
- ・年を重ねても活躍できる場（必要とされる事）

議題（２）次回の委員会に向けて

委員長	<p>各班に分かれて色々な議論が出来た。本日の意見を取りまとめて、各班で分からない意見、違う意見もあると思うので、その取りまとめた意見を基に次の会に繋げればと思う。また、正解も間違いもないと議論をしていると思うので、いろんな案がある中で、西条市にあった地域コミュニティというのをつくれればと思う。その題材となるのが本日出た意見だと考えるので、また次回、話し合うこととしたい。</p>
委員長	<p>他にないか。以上で本日の議題としていたものがすべて終了しましたが、最後に事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>— 事務連絡 —</p>
委員長	<p>それでは、以上で本日の委員会を閉会する。</p>
	<p style="text-align: right;">「了」</p>